

# 週刊 学びのコミュニティ

第 60 号

平成 22 年 8 月 28 日発行



平成 22 年度後期授業 大学教育ボランティア募集！



10 月 1 日（金）より後期授業が始まります。

今回も、共創型授業や教養科目にご参加いただける大学教育ボランティアの皆様を募集いたします。

また、9 月 2 日（木）に本取組みをご理解いただくためのセミナーを開催いたします。

合わせて皆様のご参加、お待ちしております！

## 大学教育ボランティアとして徳島大学の授業に参加しませんか！

「学ぶ」とは一体なんでしょう。「学ぶことの楽しさ」とは一体なんでしょう。学生と共に考え、学び合いながら授業を創っていく、大学教育ボランティアへのご参加、お待ちしております！

2010 年度 後期 科目名	担当講師（所属）	社会人定員	学生定員	開講日・曜日・時間帯
共創型学習 『つたえること』と『ものづくり』－科学と遊ぼう－	斉藤隆仁	3	40	10 月 4 日より全 15 回 月曜 1・2 限 8:40-10:10
名著講読 未知との出会い－文学作品や随筆を読む－	依岡隆児	3	25	10 月 4 日より全 15 回 月曜 7・8 限 14:35-16:05
共創型学習 学生と社会人による授業企画ゼミ －大学で何を学ぶのか？－	大橋 眞、光永雅子、後藤壽夫	5	12	10 月 4 日より全 15 回 月曜 7・8 限 14:35-16:05
共創型学習 宇宙を探る	伏見賢一	3	135	10 月 4 日より全 15 回 月曜 9・10 限 16:20-17:50
教養科目 グローバル社会を考える	大橋 眞、光永雅子	5	111	10 月 4 日より全 15 回 月曜 9・10 限 16:20-17:50
名著講読 自分探しと現代社会	大橋 眞、中恵真理子、後藤壽夫	5	12	10 月 5 日より全 15 回 火曜 7・8 限 14:35-16:05
名著講読 生き抜く力とは何か	大橋 眞	3	30	10 月 5 日より全 15 回 火曜 9・10 限 16:20-17:50
教養科目 アクティブラーニングで環境から科学を考える	斉藤隆仁	3	65	10 月 6 日より全 15 回 水曜 3・4 限 10:25-11:55
共創型学習 国際交流の扉を拓く	大石寧子、坂田浩、金 成海	3	64	10 月 6 日より全 15 回 水曜 7・8 限 14:35-16:05
共創型学習 地域のボランティアリーダーたちと語ろう！	大橋 眞、山本真由美	3	25	10 月 6 日より全 15 回 水曜 7・8 限 14:35-16:05

共創型学習 「つたえること」と「ものづくり」ー藍染めの科学ー	佐藤 高則	3	30	10月7日より全15回 木曜 3・4限 10:25-11:55
共創型学習 埋もれた文化遺産Ⅱ	中村 豊	3	17	10月1日より全15回 金曜 9・10限 16:20-17:50

\*詳しくは、「学びのコミュニティ」ホームページをご参照ください <http://w3.ias.tokushima-u.ac.jp/sgp/>

## 受講申込の要領

- ① 社会人の方には、教員の授業の補助的な役割を担っていただくという面があるために、この授業の受講料は無料になっています。授業内だけでなく、授業外での活動にも積極的に参加していただき、教育改善の活動にご協力ください。大学教育ボランティアとしての役割についてご理解を深めていただくため、**社会人の方へのセミナーを9月2日(木)14:00~17:00、徳島大学4号館 学生支援室**において開催いたします。お申し込みを希望される方は、ぜひともご参加ください。
- ② 2010年度前期の大学教育ボランティアを**9月3日(金)~9月10日(金)**の期間で募集します。何科目でもお申し込み可能です。開放実践センターで配布しております専用の申し込み用紙とアンケートに記入いただき、お申し込み下さい。定員オーバーの場合は、上記のセミナーの出席状況、及びアンケート内容等を参照のうえ決定させていただきますので、予めご了承ください。
- ③ 専用の申込用紙にアンケートと共にご記入の上、**大学開放実践センター<生涯学習係>窓口**にご提出ください。電話での受付はいたしません。
- ④ **9月17日(金)**までに**決定通知**を送付いたします。定員外の方には送付しませんので、ご了承ください。

※ご不明な点がありましたら、**全学共通教育学生支援室(徳島市南常三島町1-1共通教育4号館1階)**

電話: 088-656-7205 (ただし、8月26日まで不在にしております) まで、お気軽にお問い合わせください!!

### ～編集後記～

夏真っ盛りです。徳島は、まさに今が一番暑い時。そして明日からはいよいよ徳島市で阿波踊りの開幕です。徳島大学でも、昼夜を問わず、学生たちが熱心に練習を続けています。現在では有名連などによるショーとしての要素や、踊りの美の追求なども盛んになってきた阿波踊りですが、本来は無くなった方やご先祖様をあの世界からお迎えする『お盆』の行事のひとつとして踊られていたものといわれています。かつての素朴な阿波踊りは時代と共に変化し、今や、徳島県の人口を上回る集客を誇る一大観光資源となっています。なにはともあれ・・・徳島人はこの時期、どこからともなく聞こえてくる笛や鉦の音に、自然と心躍らせ、暑い夏の訪れを感じるのです。そして阿波踊りが終わり町が静かになる頃、朝夕の風は着実に次の季節を運んでくるようになります。

“踊る阿呆に見る阿呆。おなじ阿呆なら踊らなそんそん”

残暑の折、みなさまにはくれぐれもお体にお気をつけ下さいますように。(光永)